

二宮町ごみ減量化研究会 会議次第

日時 令和元年8月22日(木)午後3時～
場所 二宮町 町民センター2Aクラブ室

1. 開 会
2. 会長及び副会長の選任
3. あいさつ
4. 議 題
 - (1) 二宮町の廃棄物処理の現状について
 - (2) ごみの減量化策について
 - (3) その他
5. 閉 会

第1回二宮町ごみ減量化研究会

令和元年8月22日(木)午後3時～
二宮町民センター2Aクラブ室

廃棄物処理の現状について

平成30年度一般廃棄物処理量実績（家庭系ごみ）

単位：t/年

年度		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H30	H30	H30	H31	H32	
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績	計画値	誤差	前年比	計画値	計画値	
人口（人）		29,382	29,305	29,036	28,767	28,486	28,256	28,010	27,919	27,921	-2	-91	27,682	27,443	
家庭系 ごみ	収集ごみ	可燃ごみ	4,633	4,514	4,391	4,371	4,671	4,678	4,591	4,548	4,548	0	-43	4,509	4,443
		不燃ごみ	76	68	68	64	358	299	306	296	240	56	-10	236	228
		資源ごみ	3,341	3,298	3,140	3,042	2,664	2,529	2,459	2,423	2,442	-19	-36	2,404	2,354
		粗大ごみ （家電リサイクル除く）	226	237	226	214	84	77	79	77	179	-102	-2	178	176
		その他のごみ （有害ごみ）	9	8	8	7	8	11	9	10	7	3	1	7	7
		小計	8,285	8,125	7,833	7,698	7,785	7,594	7,444	7,354	7,416	-62	-90	7,334	7,208
	直接搬入 ごみ	可燃ごみ	9	13	13	23	33	54	45	41	24	17	-4	24	25
		不燃ごみ	5	10	4	7	160	155	148	168	21	147	20	21	21
		資源ごみ	110	106	114	110	75	72	69	68	83	-15	-1	83	80
		粗大ごみ （家電リサイクル除く）	130	160	162	180	15	18	18	17	144	-127	-1	139	131
		その他のごみ （有害ごみ）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	254	289	293	320	283	299	280	294	272	22	14	267	257
	集団回収 ※1	資源ごみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中計		8,539	8,414	8,126	8,018	8,068	7,893	7,724	7,648	7,688	-40	-76	7,601	7,465

平成30年度一般廃棄物処理量実績（事業系ごみ）

単位：t/年

年度		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H30	H30	H30	H31	H32	
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績	計画値	誤差	前年比	計画値	計画値	
事業系 ごみ	収集ごみ	可燃ごみ	546	592	617	632	667	703	721	715	587	128	-6	574	560
		不燃ごみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		資源ごみ	3	1	1	0	0	0	0	0	1	-1	0	1	1
		粗大ごみ （家電リサイクル除く）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他のごみ （有害ごみ）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	549	593	618	632	667	703	721	715	588	127	-6	575	561
	直接搬入 ごみ	可燃ごみ	11	16	12	11	21	15	18	28	17	11	10	16	14
		不燃ごみ	0	0	0	0	6	1	1	1	0	1	0	0	0
		資源ごみ	28	29	19	13	47	71	108	92	63	29	-16	63	63
		粗大ごみ （家電リサイクル除く）	12	19	11	21	0	0	0	0	15	-15	0	15	15
		その他のごみ （有害ごみ）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	51	64	42	45	74	87	127	121	95	26	-6	94	92
中計		600	657	660	677	741	790	848	836	683	153	-12	669	653	

平成30年度一般廃棄物処理量実績（家庭系・事業系ごみ合計）

単位：t/年

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H30	H30	H30	H31	H32
	実績値	実績	計画値	誤差	前年比	計画値	計画値						
総排出量	9,139	9,071	8,786	8,695	8,809	8,683	8,572	8,484	8,371	113	-88	8,270	8,118
総排出量原単位 (g/人・日)	850	848	829	828	845	842	838	832	821	11	-6	816	810

計画値（目標値）まで、あと11g！（前年度と同g）
これはロースハム約1枚ないしはオクラ約1本分の重さです。

平成30年度一般廃棄物処理量実績について（家庭系ごみ）

	H30処理量	H29処理量	前年比
可燃ごみ	4,589 t /年	4,636 t /年	1%減
不燃ごみ※1	464 t /年	454 t /年	2%増
資源ごみ※2	2,491 t /年	2,528 t /年	1%減
粗大ごみ※3	94 t /年	97 t /年	3%減
有害ごみ	10 t /年	7 t /年	43%増
合 計	7,648 t /年	7,724 t /年	1%減

※1 「不燃ごみ」：破砕ごみ

※2 「資源ごみ」：容器包装プラスチック、ペットボトル、金属、空き缶類、ビン、古紙類、布類、剪定枝、廃食油、家電類、蛍光管類

※3 「粗大ごみ」：寝具類

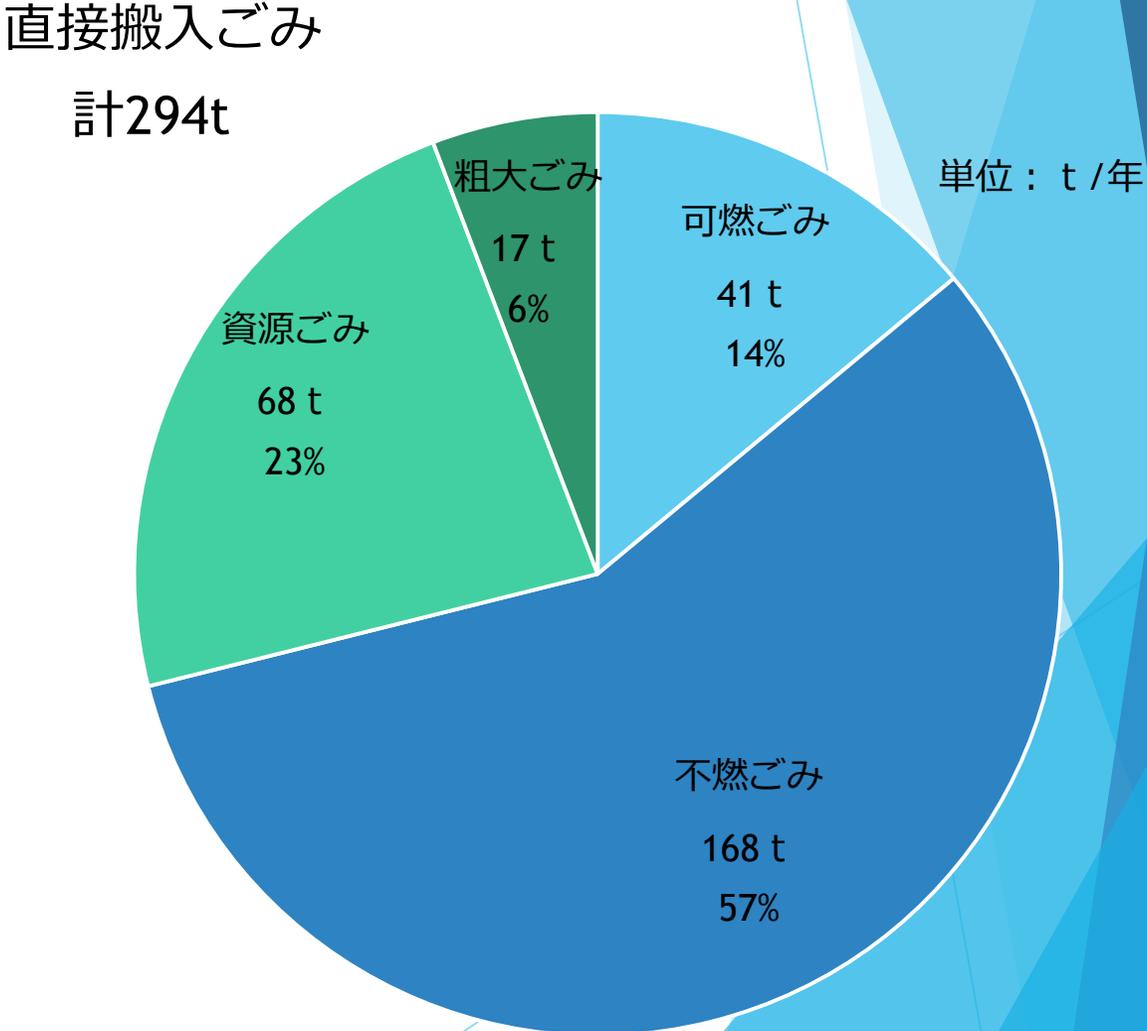
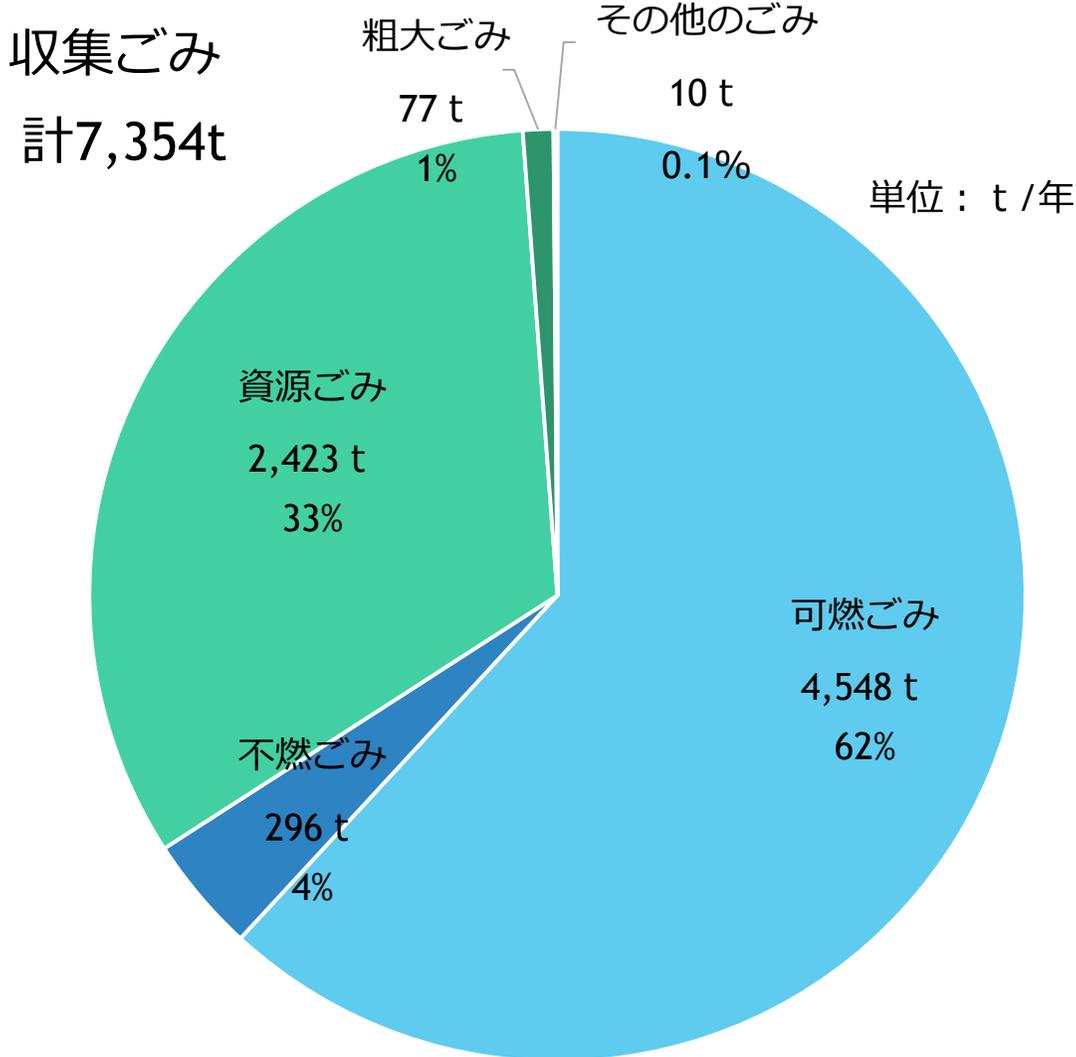
平成30年度一般廃棄物処理量実績について（事業系ごみ）

	H30処理量	H29処理量	前年比
可燃ごみ	743 t /年	739 t /年	1%増
不燃ごみ※1	1 t /年	1 t /年	増減なし
資源ごみ※2	92 t /年	108 t /年	15%減
合 計	836 t /年	848 t /年	1%減

※1 「不燃ごみ」 : 破碎ごみ

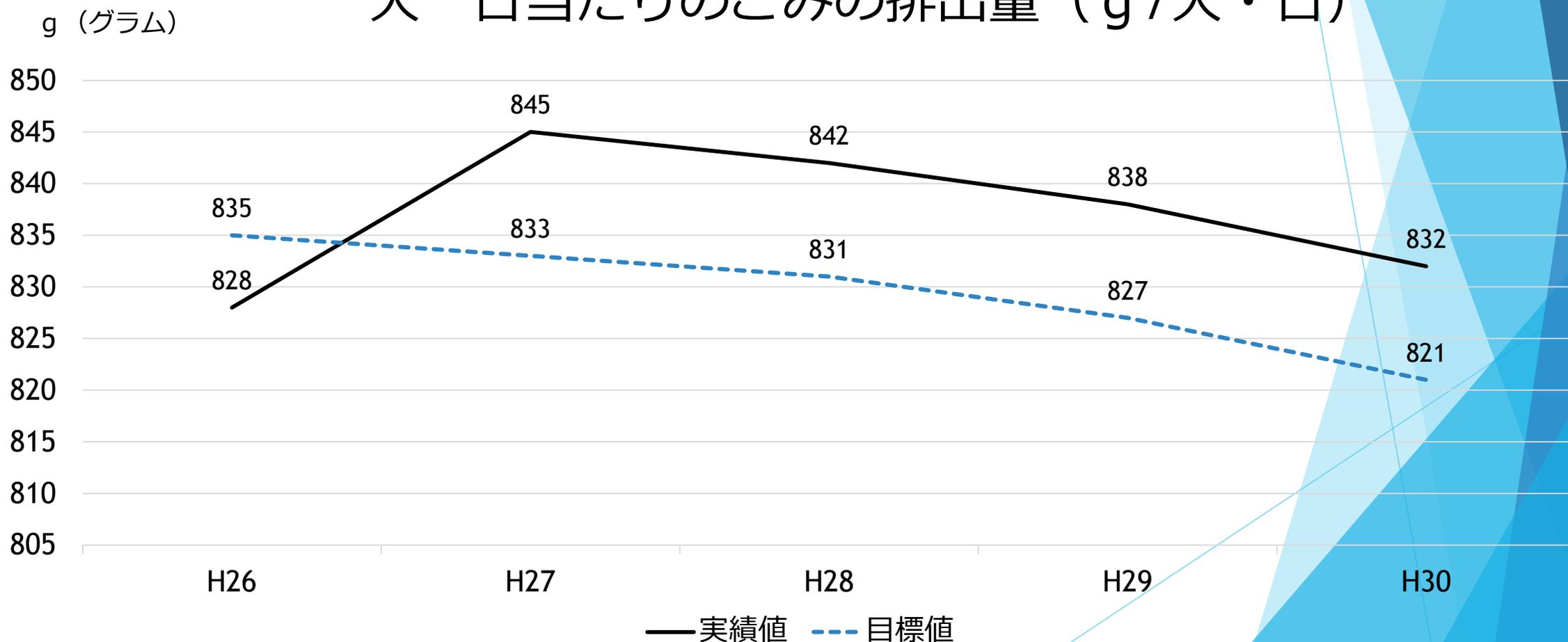
※2 「資源ごみ」 : 古紙類

平成30年度一般廃棄物処理量割合（家庭系ごみ）



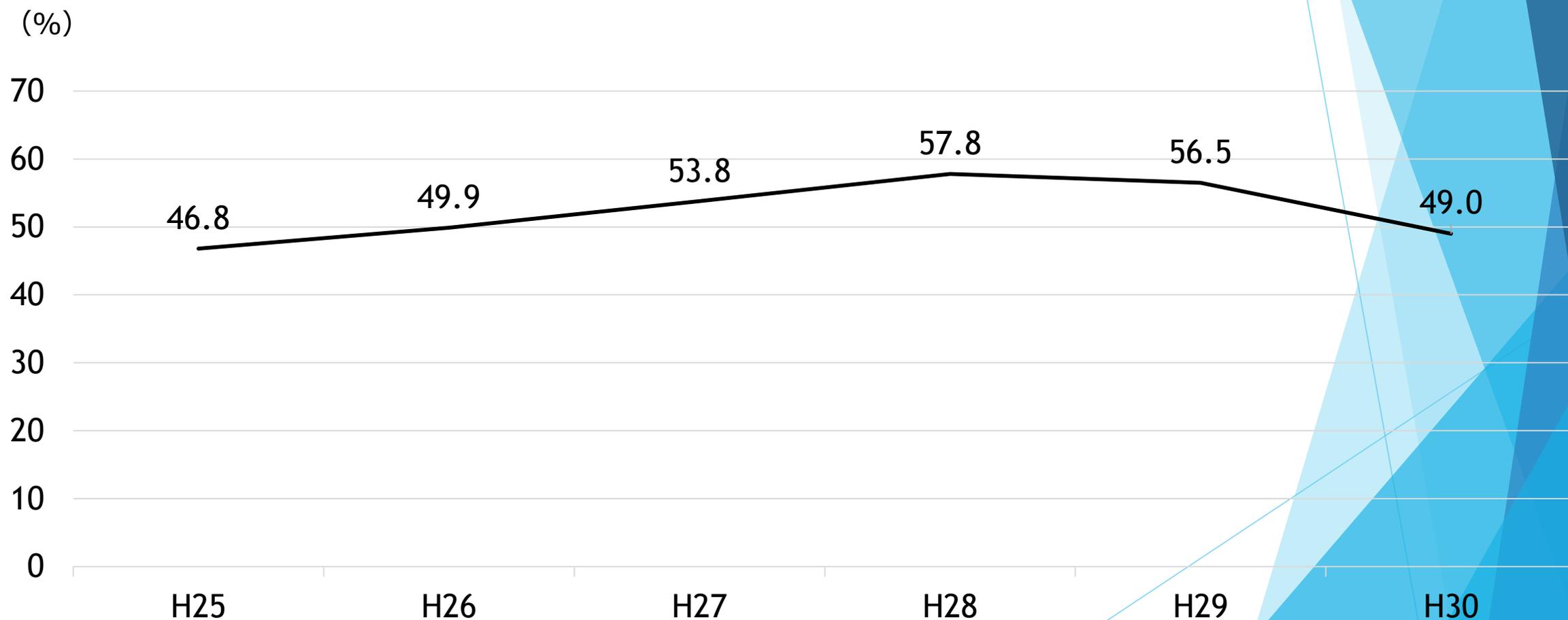
一般廃棄物処理量の計画値（目標値）と実績値の推移 （家庭系ごみ・事業系ごみ合計）

一人一日当たりのごみの排出量（g / 人・日）



可燃ごみにおける水分率の推移

年4回行っている測定値の平均値で比較



令和元年度の活動について

○家庭系一般廃棄物の減量化について

年々排出量が減少しており、計画どおり減少している。

今後も計画どおり減少していくよう、プラスチックごみや食品ロスの削減等の啓発を行うとともに、水分ひとしぼり等の地道な啓発活動も継続して行っていくことで更なる減量化を図る

○事業系一般廃棄物の減量化について

年々排出量が増加していたが、昨年度一旦の歯止めが掛かった。今年度も排出量が減少していくよう、事業所に対しごみの適正排出を促し、多量排出事業所への立入検査も継続して行っていくことで更なる減量化を図る

ごみの減量化策について

プラスチックごみの 削減について

かながわプラごみゼロ宣言について

2018年夏、鎌倉市由比ガ浜でシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられ、胃の中からプラスチックごみが発見されました。

SDGs 未来都市である神奈川県は、これを「クジラからのメッセージ」として受け止め、持続可能な社会を目指すSDGsの具体的な取組として、深刻化する海洋汚染、特にマイクロプラスチック問題に取り組みます。

プラスチック製のストローやレジ袋の利用廃止・回収などの取組を、市町村や企業、県民とともに広げていくことで、2030年までのできるだけ早期に、リサイクルされない、廃棄されるプラごみゼロを目指します。



～クジラからのメッセージ～

2018年夏、鎌倉市由比ガ浜でシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられ、胃の中からプラスチックごみが発見されました。

神奈川県は、これを「クジラからのメッセージ」として受け止め、

持続可能な社会を目指すSDGsの具体的な取組として、

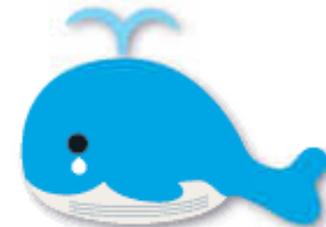
深刻化する海洋汚染、特に

マイクロプラスチック問題に取り組みます。

2030年までのできるだけ早期に、

リサイクルされない、

廃棄される**プラごみゼロ**を目指します。



プラスチック製ストローやレジ袋の利用廃止や回収に、皆様のご理解、ご協力をお願いします。



『マイエコ10宣言』 《プラごみゼロ宣言ver》

プラごみゼロの実現に向けて、『マイエコ10宣言』
《プラごみゼロ宣言ver》を作成。

16項目の行動メニューから自分が「できそうなこと、やってみたいこと」を10項目選ぶ（=宣言する）

『マイエコ10宣言』
ませんか？

プラごみゼロ宣言
バージョン

プラごみゼロの実現に向けて、『マイエコ10宣言』(プラごみゼロ宣言ver.)を作成しました！

16項目の行動メニューから、ご自分が「できそうなこと、やってみたいこと」を10項目選ぶ(=宣言する)だけ。私たち一人ひとりの行動がSDGsに、そして未来につながります。「自分に約束」、マイエコ10！

かながわプラごみ
ゼロ宣言



マイエコ10宣言HPからも宣言できます!!
ぜひ実践しましょう。



<p>① プラスチック製ストローの使用は控える</p>	<p>② マイバッグを持参し、レジ袋はもらわない</p>	<p>③ マイボトル、マイ箸を持ち歩く</p>	<p>④ お店でプラスチック製スプーンなどをもらわない</p>
<p>⑤ スプーンなどで食品を小分けにするおし器の使用を減らす</p>	<p>⑥ ごみの少なくなるものを選んで買う</p>	<p>⑦ 食品の保存の時は、ひたつき容器を使う</p>	<p>⑧ 買い物の際には、廃棄物箱を避ける</p>
<p>⑨ 海岸などでのレジームの草とは、ごみを持ち帰る</p>	<p>⑩ 海岸などのごみ拾いに参加する</p>	<p>⑪ 使っているものの裏面マークを確認する</p>	<p>⑫ プラごみはルールに従って、分別して出す</p>
<p>⑬ 自分だけでなく周りのプラごみを出しているか考えてみる</p>	<p>⑭ プラごみができるようにリサイクルされるか調べてみる</p>	<p>⑮ 車庫や倉庫にプラごみを溜らすよう呼びかける</p>	<p>⑯ プラごみによる海洋汚染について調べてみる</p>

神奈川県の実施策について

1. コンビニエンスストア・スーパーマーケット・レストラン等と連携し、プラスチック製ストローやレジ袋の利用廃止や回収などの実施策を進めていきます。
2. 県内で行われる環境イベント等において、プラスチック製ストローの利用廃止や回収などを呼びかけていきます。
3. 海岸利用者に対して、海洋汚染の原因となるプラスチックの持ち帰りを呼びかけていきます。

二宮町の削減策案について

1. ゴミ減量化の一環として、マイバック・マイボトル等の利用促進を図り、プラスチックごみの排出量を削減する。
2. ゴミアプリ導入による分別排出の徹底等により、不法投棄並びに不適正排出の防止強化を図り、海岸漂着ごみを削減する。

食品ロスの削減について

食品ロスの削減策案について

○飲食店等に対し啓発ポップや啓発チラシを配布

- 町で作成した、3010運動の普及啓発ポップや啓発チラシを町内の飲食店等に設置してもらえよう引き続き働きかける
- 宴会場以外の飲食店等にも設置できるような啓発ポップや啓発チラシを作成し、町内の飲食店等に設置してもらえよう働きかける
- 設置後は、各飲食店等に設置効果等を確認し、継続性について検討する

食品ロスの削減策案について

○食べきり協力店の募集

- 「小皿メニューなどの導入」や「持ち帰り希望者への対応」を行っている「食べきり協力店」を募集する
- 「食べきり協力店」の募集については、年に数回、平塚地区食品衛生組合が行っている食品衛生責任者養成講習会において募集チラシを配布したり、町ホームページで募集案内を行う事により実施
- 募集後は、町ホームページや菜の花ウォッチングのパンフレットに食べきり協力店を掲載し紹介する

食品ロスの削減策案について

○広報・ホームページ等による啓発活動

- ・ 食材、食品の使いきり、料理の食べきりについて呼びかけを行う
- ・ 冷蔵庫の一斉清掃や中身の見える化について呼びかけを行う
- ・ クックパッド「消費者庁のキッチン」で紹介されている料理レシピ等を町ホームページに掲載